

鎌倉の大仏鑄造伝説を遺した鑄物師棟梁の工房跡

ちゅうしょうおおのごろう う えもんいせき

鑄匠大野五郎右衛門遺跡



やなの大野家は「鎌倉の大仏」を鑄造した鑄物師の子孫と伝えられています。
中世の関東では上総鑄物師の有力な工人集団として活躍していました。市内の
矢那では、市原方面から移住してきた集団が、15世紀初頭から生産を開始して
います。現在でも大野家の周辺では、金糞と呼ばれる鉄滓（スラグ）などが採
取でき、工房が操業していた当時をしのぶことができます。

市指定文化財：記念物（史跡）

指定年月日：昭和40年2月20日

所在地：木更津市矢那

所有者：個人

員数：30㎡

公開・非公開の別：非公開
